



ちょこっとおでかけごはん会

～集落支援員による共食促進事業～

令和7年度 政策研究共同研修
越知町 企画課 田所 千明



1

目次

- ①現状分析
- ②政策提言
- ③費用対効果とビジョン



2



①現状分析



②政策提言

③費用対効果とビジョン

3

①現状分析

★第2期越知町まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020年4月～）

基本目標5：安心していつまでも暮らし続けられる地域づくり

⇒誰もが気軽に集い、必要なサービスを受けることができる拠点を整備する

★第6次越知町総合振興計画作成前のワークショップの結果（2020年12月）

閉じこもり予防の取り組みが不十分⇒男性を外に連れ出すのは難しい（きっかけ）

※参考資料①

★第6次越知町総合振興計画（2021年4月～）

基本構想 5. 健やかに、いつまでも元気に暮らせるまち（共に生きる）

⇒生きがいをもって、いきいきと暮らすことができる環境を整備する

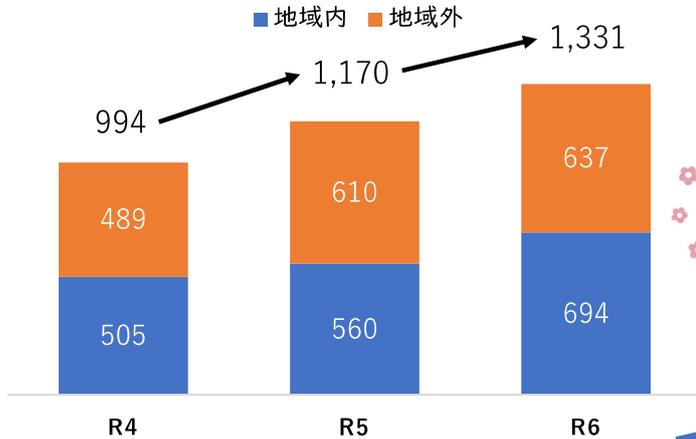
誰もが気軽に集える場所、生きがいをもつことが求められている！！

4

越知町の現状

★山笑ふ横畠集落活動センター

「お山の喫茶のかな」の客数
(土)モーニング喫茶、(日)サロン営業



客数は年々増加

★明治東部地区

参加者は女性が多い

体操のみの参加者数：6名程度

ご飯会の参加者数：15名程度

男性の参加者(増)
→男性を外に連れ出すきっかけに！

ごはん会を開催すると参加者(増)

誰かと一緒に食事ができる場所
需要あり！！

町民の意見 (聞き取り)

ごはん会の回数を
増やしてほしい！

(70代・女性) (70代・男性)

ひとりでごはんを食べるのはさみしい。
みんなとごはんを食べるとおいしく感じる！

(70代・女性) (80代・男性) (90代・女性)

乗り合いで運転していたが、
もう少して免許返納する予定。
今後の交通手段が不安。

(70代・女性)

ごはん会を開催するための課題

【集落支援員の不足】

- ・ 人手不足
- ・ 共食促進担当がない
- ・ 募集しても集まらない
(勤務が週4日×7.25時間)



集落支援員が働きやすい環境を整備し、共食の機会を増やす！

週3日勤務なら働きたいけど、
(元地域おこし協力隊・30代・男性)



【交通手段の不足】

- ・ 高齢化
- ・ 公共交通機関の不足



送迎できるしくみをつくる！

送迎してもらえたら
ごはん会に参加したい。



7

①現状分析



②政策提言



③費用対効果とビジョン

「共食促進事業」全体像

集落支援員の雇用

- ・食のコミュニティづくり担当を2名雇用
- ・越知町全域で活動する
- ・ごはん会の企画・開催

公用車で送迎

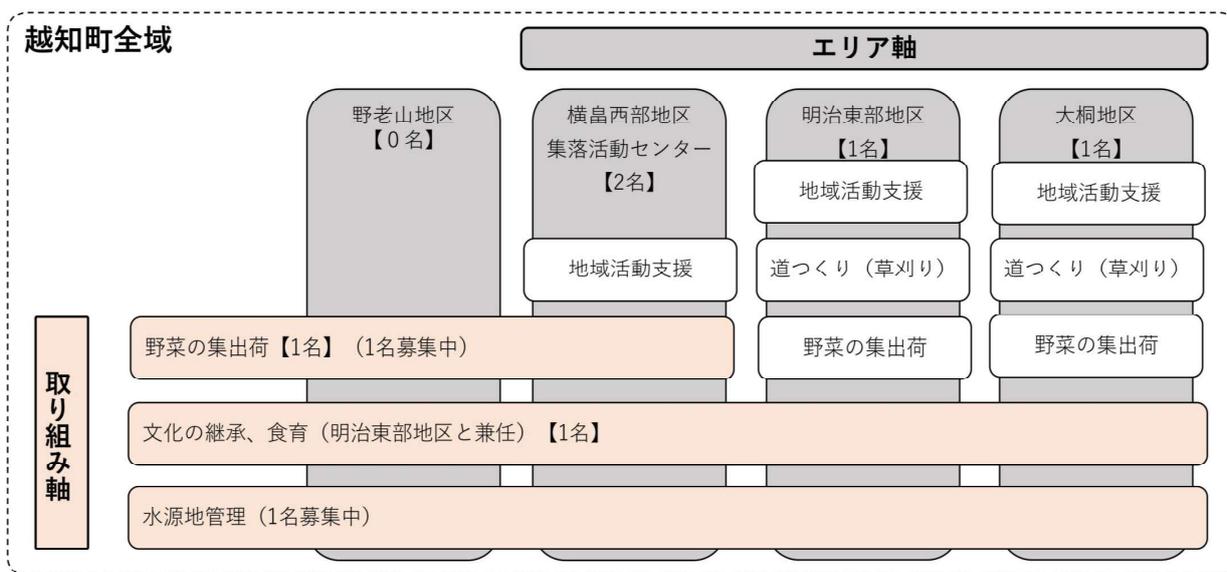
- ・公用車で町民を送迎できる仕組みをつくる
- ↓
- ・交通手段がない人も参加できるようになる！



ごはん会を定期的に行き、
誰もが参加できる環境を整える！



越知町の集落支援員の配置状況について

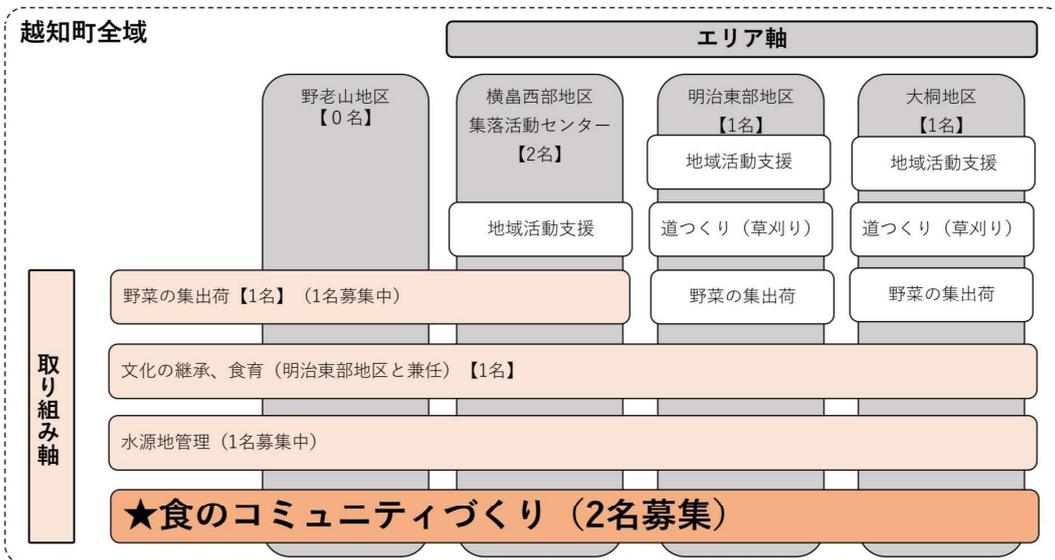


- ※基本的にはエリアごとに集落支援員が配置されている
- ※共食促進担当がない
- ※募集しても応募がない

②政策提言

集落支援員（食のコミュニティづくり担当）の雇用

★エリアにとらわれず、**食のコミュニティづくり担当**を新たに2名雇用する



活動内容

- ・食のコミュニティづくり（ごはん会の開催）
- ・参加者の送迎
- ・地域巡回 など

勤務形態

- ・週3日×7時間

②政策提言

公用車での送迎を可能にする

★公用車で町民を送迎できる仕組みをつくる

【利用料】 無料

【利用方法】 事前登録制

【対象者】

- ①ごはん会の参加者
- ②申請時の年齢が70歳以上のみの世帯の人で、徒歩や自転車以外の交通手段がない
- ③介護を必要としないで、車の乗降ができる

【使用車両】 公用車

すでに所有している公用車の中で、稼働率が低いものを活用！

【参考】 群馬県太田市の事例

新規購入不要！

※参考資料④



①現状分析

②政策提言



③費用対効果とビジョン



③費用対効果・ビジョン

費用対効果

目標

★各地区月1回の開催

	1年目	2年目	3年目
実施地区	2地区	3地区	4地区
年間参加者数	900人	1,200人	1,600人
満足度	70%	80%	90%

予算

食のコミュニティづくり担当の集落支援員を新たに2名雇用した場合（週3日×7時間）

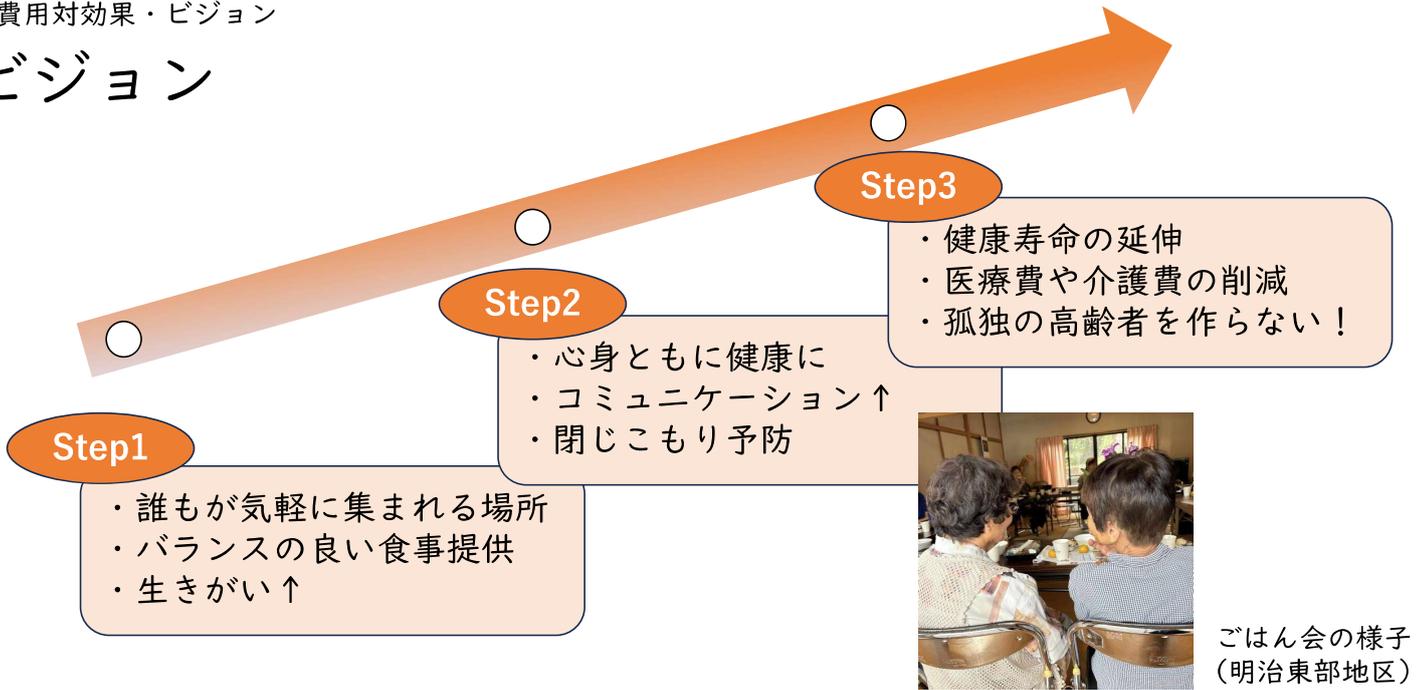
【人件費】報酬+職員手当 = (134,020円×12か月×2名) + (134,020円×4.6×2名) = 4,449,464円

【地域活動用具および材料費】250,000円

【その他】公用車燃料代+公用車など修繕料+車検など手数料+保険料
= 90,000円 + 30,000円 + 70,000円 + 36,000円 = 226,000円

⇒約5,000千円（※集落支援員の活動費は特別交付税の対象）

ビジョン



食事だけでなく、『交流・見守り・健康』を育む地域の場に！



ご清聴ありがとうございました。



参考資料① 第6次越知町総合振興計画 町民ワークショップ実施結果

表 今までの取り組み施策一覧（第5次越知町総合振興計画～後期基本計画～）

番号	今までの取り組み	番号	今までの取り組み
1	緊急通報装置設置事業	9	高齢者の生きがい対策
2	高齢者福祉電話設置事業	10	高齢者住宅の確保とバリアフリー対策の推進
3	閉じこもり予防	11	高齢者家庭の有償見守り地域の拡大
4	生活管理指導員等の派遣事業	12	障がいのある方の福祉的就労の場充実
5	移動支援事業	13	災害時要援護者等の見守り活動
6	福祉チケット（タクシー・ガリリン）制度	14	緊急ショートステイ床の確保
7	地域ハイヤーチケット事業	15	第2期地域福祉計画の策定
8	地域包括支援センターの機能強化	16	生活環境改善事業

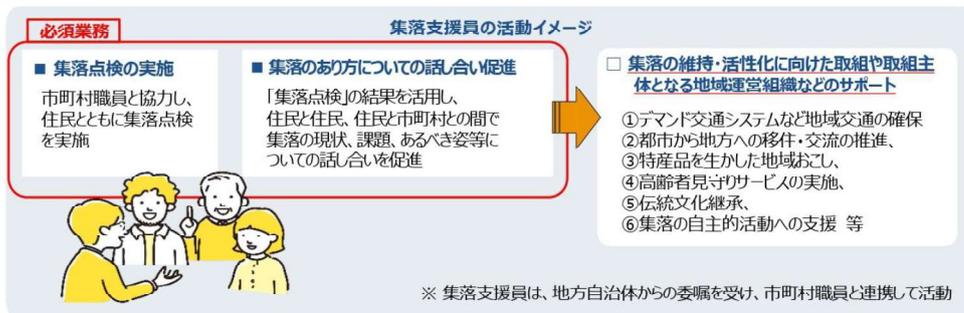
表 ワークショップの結果

ワークショップテーマ① 皆さんが考える集落の課題理由		ワークショップテーマ② 今後、どのようにしていけばよいか	
番号	取り組みにくいと感じる理由	番号	取り組みが十分だと感じる理由
1	継続	2	男性を外へ連れ出すのは難しい（きつかけ）
2	公民利用中	4	他の事業でまかなえるので停止。
3	役割を担っての閉じこもり予防	0	魅力的な活動になっていないので会員が増えない。
4	停止	0	本人が「高齢」という意識が無い。
6	継続		
7	継続		
9	継続		
11	集落支援員 あったらいいなセンター (民生委員さん以外の見守り)		
12	継続・拡充		
13	継続		
14	確認必要。終了？広域？		
16	拡充しすぎて・・・対応困難		
番号	自分達でできる今後の取り組みはなご	番号	わざわざに支援して欲しい取り組みはなご
5	介護タクシーへの移行？	8	まち小室に居慣れや距離などを置いて利用者を集める。
11	車庫の確保や見守り対策地区に 実家を持つ町内に住んでいるかなどに 委託する。	9	近ノ前へ車庫バスをまわして 集いの場へ送迎する。
11	両隣と話し合っておく！	7	介護認定の要支援の方は 比較的好元気な方で、 気象等に考慮を取りたい。
		0	体制を更に強化。
		10	高齢者の自宅外の住まいの確保の制度作り。
		11	郵便局の見守り体制を継続。
		12	就労も必要だが、高齢者の社会参加の 出来る場をつくる。 (コミュニティセンターが苦手な方の 継続的な空間)
		12	どんぐり歩い欲しい、 歩いずのりが動きにくい、 杖の活用なども欲しい。
		13	健康員等人材の増員

参考資料② 集落支援員とは

集落支援員

過疎地域等の集落の維持・活性化のため、地域の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウを有する人材が、集落の巡回・状況把握、住民同士の話し合いの促進、これらを通じ必要とされた具体的な取組やその取組主体となる地域運営組織などのサポートを行う。



特別交付税措置

集落支援員を設置した地方自治体に対して特別交付税措置を講じる。

対象経費	集落支援員		
措置額	集落支援員 1人あたりの上限	専任	500万円
		兼任	40万円

※国勢調査における人口集中地区は措置の対象外

参考資料③ 越知町の現在の集落支援員の配置状況について

	業務内容
集落活動センター関連 (2名)	・集落活動センターの事務局（横島西部地区） ・地域活動支援、住民交流活動・祭事支援および継承活動
大桐地区（1名）	・地域活動支援、道づくり（草刈り）、住民交流活動・祭事支援および継承活動
明治東部地区（1名）	・地域活動支援、道づくり（草刈り）、住民交流活動・祭事支援および継承活動 ・食文化の継承、食のコミュニティづくり、食育
その他個別業務（1名）	・野菜の集出荷のニーズ調査、野老山地区のサポート
募集中（2名）	・野菜の集出荷のニーズ調査、集落維持活性化
	・水源地管理、集落維持活性化

19

参考資料④ 群馬県太田市 高齢者買い物支援「お買い物クラブ」

買い物に困っている高齢者を支援 利用対象条件が変わりました

お買い物クラブ

利用者募集中【登録制】

お買い物は30分程度

週1回 決まった曜日・時間に

自宅から指定のスーパーへ無料送迎

距離要件がなくなりました！

利用対象
 全て、あてはまる人
 ① 70歳以上のみの世帯で、徒歩や自転車以外の交通手段がない
 ② 介助を必要としないで買い物ができる

申し込みは直接または電話で、各行政センターへ

「お買い物クラブ」について・・・

地域の住民ボランティアが、交通手段がなく買い物に行けない高齢者を自宅から指定のスーパーマーケットへ送迎する事業。

【概要】

- ・利用日時：週1回（平日の午前中）
あらかじめ指定された曜日・時間
- ・利用料：無料
- ・利用方法：登録制
- ・対象者：
 - ①申請時の年齢が70歳以上のみの世帯の人で、徒歩や自転車以外の交通手段がない
 - ②介護を必要としないで、車の乗降・買い物ができる
- ・使用車両：公用車
- ・ドライバー：ボランティアスタッフ
※ボランティアスタッフが運行できない場合は、各地区振興課の職員が運行する

20

参考資料⑤

ロジックモデル（ 所属：越知町 氏名：田所 ）

解決すべき問題・課題	ごはん会の回数が足りていない（共食の機会を増やす）
上記問題・課題と事業との関係	ごはん会の回数が足りていない原因は、①集落支援員の不足、②交通手段が少ないことが考えられる。

事業概要 （アクティビティ）	活動目標 （アウトプット）	短期成果目標 （短期アウトカム）	中長期成果目標 （中長期アウトカム）
★集落支援員の雇用 ・食のコミュニティづくり担当を新たに2名雇用 ・雇用形態：週3回×7時間	・集落支援員を2人雇用 ・各地区月1回のごはん会を開催 <測定方法> 集落支援員に報告してもらう	・2地区で開催 ・年間900人以上の参加 ・満足度70% <測定方法> 集落支援員に報告してもらう	・4地区で開催 ・年間1,600人以上の参加 ・満足度90% ・生きがい↑
★公用車で送迎 ・利用料：無料 ・すでに所有している公用車を活用	・公用車で町民を送迎できる仕組みをつくる	・交通手段が不足している人に活用してもらう	・閉じこもり予防 →心身ともに健康に

予算（インプット）

食のコミュニティづくり担当の集落支援員を新たに2名雇った場合
 （週3日×7時間）
 【人件費】4,449,464円
 【地域活動用具および材料費】250,000円
 【その他】90,000円+30,000円+70,000円+36,000円=226,000円
 ⇒約5,000千円（※集落支援員の活動費は特別交付税の対象）

その他関連事業・施策

- ・集落活動センター事業
- ・あったかふれあいセンター事業
- ・老人クラブの活動

社会的影響
（インパクト）

- ・健康寿命の延伸
- ・医療費や介護費の減少
- ・地域内の絆が深まる